



# 沖縄地区税関 管内貿易概況（速報） 令和4年3月分

※税関は150周年を迎えます。

（増減・伸率は対前年同月比）

## ●今月のポイント

### ●輸出

・輸出総額は58億98百万円、対前年同月比31.9%増(2ヵ月連続の増加)

・主な増加品目は「石油製品」(72.7%)、「金属鉱及びびくず」(54.1%)、「パルプ及び古紙」(47.8%)

(主な減少品目は「一般機械」(▲40.5%)、「再輸出品」(▲86.5%)、「精密機器類」(全減))

・国(地域)別構成比はフィリピン(62.9%)、台湾(10.4%)、中国(8.5%)、韓国(7.7%)、香港(2.0%)

### ●輸入

・輸入総額は106億32百万円、対前年同月比46.7%増(6ヵ月連続の増加)

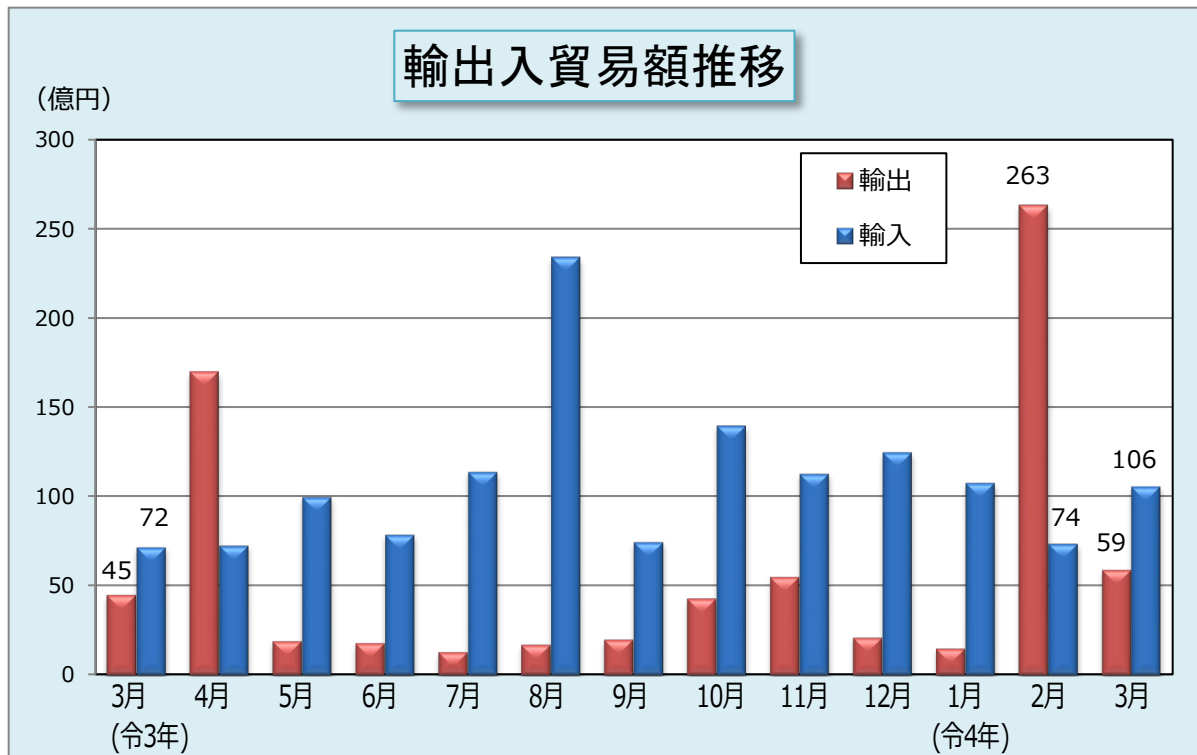
・主な増加品目は「石炭」(2.8倍)、「穀物及び同調製品」(2.1倍)、「その他の雑製品」(72.3%)

(主な減少品目は「一般機械」(▲56.3%)、「石油製品」(▲54.7%)、「織物用糸及び繊維製品」(▲24.0%))

・国(地域)別構成比はオーストラリア(26.2%)、中国(11.1%)、インドネシア(9.0%)、アメリカ(9.0%)、タイ(8.5%)

### ●差引

・差引額は47億33百万円の入超(前年同月は27億78百万円の入超)



## 1. 輸出動向

### (1) 主要品目別動向

品名(金額・伸率)	構成比	主要国(地域)(金額・伸率)
1 石油製品 (37億8百万円、72.7%)	62.9%	フィリピン (37億8百万円、全増)
2 金属鉱及びびくず (7億41百万円、54.1%)	12.6%	韓国 (3億97百万円、8.7倍) 台湾 (2億86百万円、88.9%)
3 鉄鋼 (4億23百万円、18.1%)	7.2%	中国 (4億23百万円、全増)
4 一般機械 (2億81百万円、▲40.5%)	4.8%	台湾 (82百万円、41.4%) 中国 (64百万円、4.8倍)
5 パルプ及び古紙 (2億54百万円、47.8%)	4.3%	台湾 (1億60百万円、76.3%) インドネシア (39百万円、21.3%)
<p><b>増加品目(増加額・伸率)</b> <span style="float:right">主な増加国(地域)</span></p> <p>1 石油製品 (+15億61百万円、72.7%) <span style="float:right">フィリピン</span></p> <hr/> <p>2 金属鉱及びびくず (+2億60百万円、54.1%) <span style="float:right">韓国、台湾</span></p> <hr/> <p>3 パルプ及び古紙 (+82百万円、47.8%) <span style="float:right">台湾、タイ</span></p> <hr/> <p><b>減少品目(減少額・伸率)</b> <span style="float:right">主な減少国(地域)</span></p> <p>1 一般機械 (▲1億91百万円、▲40.5%) <span style="float:right">ドイツ、アメリカ</span></p> <hr/> <p>2 再輸出品 (▲1億73百万円、▲86.5%) <span style="float:right">カナダ、香港</span></p> <hr/> <p>3 精密機器類 (▲1億2百万円、全減) <span style="float:right">シンガポール、韓国</span></p> <hr/>		

### (2) 主要国(地域)別動向

国(地域)名(金額・伸率)	構成比	主要品目(金額・伸率)
1 フィリピン (37億11百万円、453.7倍)	62.9%	石油製品 (37億8百万円、全増)
2 台湾 (6億13百万円、▲15.4%)	10.4%	金属鉱及びびくず (2億86百万円、88.9%) パルプ及び古紙 (1億60百万円、76.3%)
3 中国 (5億2百万円、9.8倍)	8.5%	鉄鋼 (4億23百万円、全増) 一般機械 (64百万円、4.8倍)
4 韓国 (4億55百万円、3.9倍)	7.7%	金属鉱及びびくず (3億97百万円、8.7倍) 加工油脂及びびろう (33百万円、23.3倍)
5 香港 (1億17百万円、▲40.2%)	2.0%	肉類及び同調製品 (60百万円、▲6.1%) 金属鉱及びびくず (12百万円、▲29.2%)

## 2. 輸入動向

### (1) 主要品目別動向

品名(金額・伸率)	構成比	主要国(地域)(金額・伸率)
1 石炭 (31億4百万円、2.8倍)	29.2%	オーストラリア (25億29百万円、4.1倍) インドネシア (5億74百万円、41.6%)
2 肉類及び同調製品 (8億26百万円、▲2.5%)	7.8%	デンマーク (1億65百万円、▲7.6%) ブラジル (1億52百万円、3.2倍)
3 穀物及び同調製品 (8億17百万円、2.1倍)	7.7%	タイ (5億90百万円、2.1倍) カナダ (97百万円、4.1倍)
4 その他の雑製品 (5億16百万円、72.3%)	4.8%	イタリア (1億65百万円、7.7倍) 中国 (1億4百万円、▲9.9%)
5 果実及び野菜 (4億83百万円、73.1%)	4.5%	アメリカ (1億70百万円、12.6倍) フィリピン (1億2百万円、4.0%)
<p><b>増加品目(増加額・伸率)</b> <span style="float:right">主な増加国(地域)</span></p> <p>1 石炭 (+20億円、2.8倍) <span style="float:right">オーストラリア、インドネシア</span></p> <hr/> <p>2 穀物及び同調製品 (+4億20百万円、2.1倍) <span style="float:right">タイ、カナダ</span></p> <hr/> <p>3 その他の雑製品 (+2億16百万円、72.3%) <span style="float:right">イタリア、アメリカ</span></p> <hr/> <p><b>減少品目(減少額・伸率)</b> <span style="float:right">主な減少国(地域)</span></p> <p>1 一般機械 (▲3億99百万円、▲56.3%) <span style="float:right">カナダ、アメリカ</span></p> <hr/> <p>2 石油製品 (▲3億77百万円、▲54.7%) <span style="float:right">韓国</span></p> <hr/> <p>3 織物用糸及び繊維製品 (▲24百万円、▲24.0%) <span style="float:right">ベルギー、ベトナム</span></p> <hr/>		

### (2) 主要国(地域)別動向

国(地域)名(金額・伸率)	構成比	主要品目(金額・伸率)
1 オーストラリア (27億91百万円、3.5倍)	26.2%	石炭 (25億29百万円、4.1倍) 非鉄金属 (88百万円、60.4%)
2 中国 (11億76百万円、14.6%)	11.1%	非金属鉱物製品 (1億59百万円、2.3倍) 家具 (1億32百万円、70.5%)
3 インドネシア (9億61百万円、69.6%)	9.0%	石炭 (5億74百万円、41.6%) その他の動植物性原材料 (1億87百万円、全増)
4 アメリカ (9億53百万円、36.2%)	9.0%	果実及び野菜 (1億70百万円、12.6倍) 一般機械 (1億32百万円、▲22.2%)
5 タイ (8億99百万円、82.5%)	8.5%	穀物及び同調製品 (5億90百万円、2.1倍) 肉類及び同調製品 (1億41百万円、27.1%)

- ◆本資料における貿易額は、管内各官署が管轄する区域に蔵置された貨物の通関額です。
- ◆「再輸出品」とは本邦から輸出する外国産貨物をいい、「再輸入品」とは本邦に輸入する内国産貨物をいいます。
- ◆税関ホームページ内「貿易統計」ページでは、下記資料の検索・閲覧が可能です。  
《ホームページアドレス <https://www.customs.go.jp/>》
  - 各種貿易統計データの検索（品目・国・税関ごとの貿易額、船舶・航空機統計等）
  - 財務省及び各税関（地域）の貿易統計発表資料、その他の参考資料
- ◆本資料を引用する場合は、沖縄地区税関の資料による旨を注記して下さい。
- ◆不明な点がございましたら、下記連絡先へお問い合わせ下さい。

沖縄地区税関 調査部 調査統計課  
沖縄県那覇市港町 2-11-1 那覇港湾合同庁舎 3階  
TEL. 098-862-9650



令和4年5月15日に沖縄地区税関は  
発足50年を迎えるワン！